

各 位

会 社 名 株式会社アルファクス・フード・システム
代 表 者 名 代表取締役社長 田 村 隆 盛
(コード番号：3814 東証 J A S D A Q)
電 話 番 号 0 8 3 6 - 3 9 - 5 1 5 1
U R L <http://www.afs.co.jp/>

超低価格セルフレジ「セルフショット」の特許を出願

外食チェーン向け基幹業務システム・サービスで国内トップシェアの、株式会社アルファクス・フード・システム（本社 山口県山陽小野田市 代表取締役社長 田村 隆盛）は、このたび、外食産業の人手不足対策として開発した、超低価格セルフレジ「セルフショット」に関して、特許庁に特許を出願いたしました。

「セルフショット」は、4月上旬に販売を開始した飲食店におけるセルフ前会計システムで、これまでの一般的な券売機やその他の前会計システムと比較して、圧倒的な低価格というだけでなく、お客様側にはオーダー選択の自由度を高め、店舗側にはオーダー会計処理を完全になくした、近年の飲食店舗の深刻な人手不足解消の工夫がなされたシステムとなっています。

これまで、セルフレジの導入の障害となっていたのは、まずセット価格（設置場所の造作費を含む）が高く、大型のため、一般的な飲食店のレジ台に設置できないことでした。

これを解決するため、「セルフショット」では、当社指定の釣銭機との組み合わせにより、W410×D580×H440（mm）と、既存のレジ台に設置できる業界最小寸法といたしました。

また、お客様メニュー選択時の待ち行列を解消するため、「セルフショット」にはサーバー機能が備えられており、汎用の低価格なタッチパネル（当社製品名：テーブルショット）を客席のテーブルオーダー端末として利用できるため、高額な釣銭機を複数台必要とせず、価格も業界最安のセット価格を実現しています。

さらに、業態差はあるものの、これまでの前会計システムなどでは追加オーダーを取りづらく、客単価の低下を招いておりましたが、テーブルオーダー端末を組み合わせることで、追加オーダー率を飛躍的に向上させることができます。

「セルフショット」は、お客様に気持ち良くオーダーして頂ける限界と、従業員がオーダーや精算業務に手をとられることなく、料理提供に専念できる限界を追求した、これまでになかったセルフレジです。

現在の外食業界は、店舗の人手不足がより深刻化しており、「セルフショット」への期待が大きいものと考えております。

■この件に関するお問い合わせは

株式会社アルファクス・フード・システム
マーケティング営業戦略部 TEL：0836-39-5151